

## 指標 4：大宮停車場大成線歩行者交通量

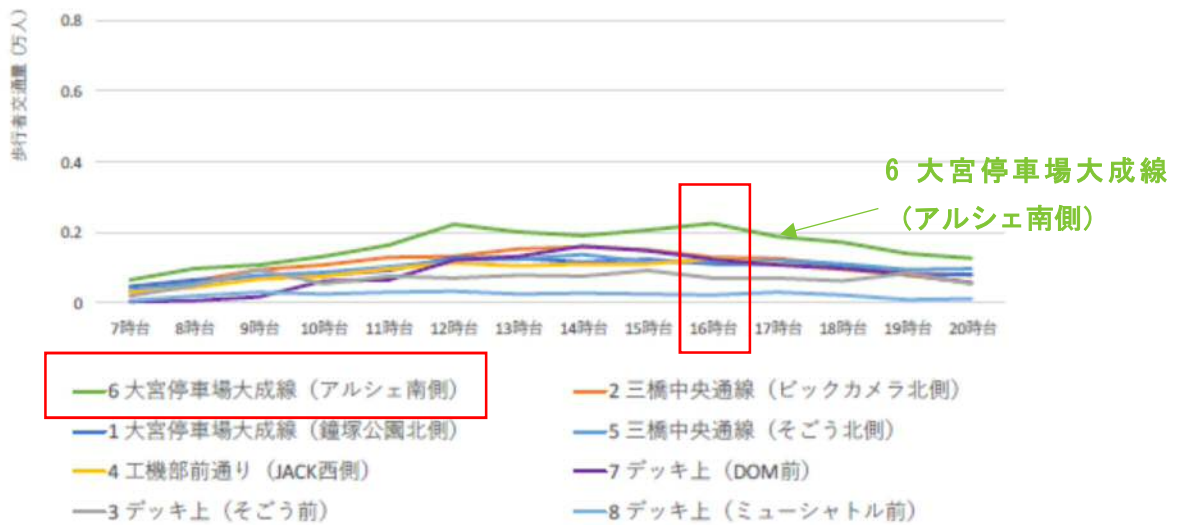
大宮停車場大成線のピーク時歩行者交通量を計測し、従前値とする。(指標 3 と同様、休日とする)

目標値は、大宮駅西口第 3 - B 地区第一種市街地再開発事業による歩行者増加を考慮した交通量を設定する。

### a) ピーク時の確認

大宮停車場大成線における歩行者交通量のピーク時間は、指標 3 と同様、平成 31 年度大宮駅周辺地域歩行者回遊分析報告書 (令和 2 年 3 月) の結果を用い確認する。

■ 休日の歩行者交通量の時間帯変動



### b) ピーク時の選定

休日のピーク時である、16 時台を用いることとする。

### c) 従前値の設置

大宮停車場大成線 (アルシェ南側) におけるピーク時の歩行者交通量調査の結果は下表のとおりである。大宮停車場大成線の断面 (北側歩道と南側歩道) の上下線におけるピーク時の歩行者交通量を従前値とする。

従前値 = 1,653 人

計測日：令和 2 年 11 月 15 日 (日)

計測時間：16 時～17 時

■ ピーク時における歩行者交通量

単位：人

計測箇所	上り	下り	小計
A: 北側歩道	540	417	957
B: 南側歩道	324	372	696
合計	864	789	1,653

■ 計測箇所



d) 目標値の設定

大宮駅西口第3-B地区第一種市街地再開発事業の施設建築物の供用開始及び基幹事業である道路整備等により、歩行者交通量の増加が見込まれる。指標3と同様、休日における増加量の予測値を算出し、従前値(1,653人)に加えた値を目標値とする。

増加量の予測値の算出は、「国土交通省 大規模開発関連交通計画マニュアル 改訂版 平成26年6月」(以下「大規模マニュアル」という。)に準拠して行った。

■交通手段別分担率 (H30PT調査 大宮区桜木町2丁目:ゾーンコード6021より設定)

施設	鉄道	バス	自動車	2輪車	自転車	徒歩	その他・不明	計
住宅・寮	41.7%	0.5%	13.0%	0.0%	11.3%	32.7%	0.8%	100.0%
学校・保育・文化施設	47.2%	2.2%	13.0%	0.0%	12.3%	25.3%	0.0%	100.0%
医療施設	63.9%	4.0%	14.0%	0.0%	2.0%	16.1%	0.0%	100.0%
高齢福祉施設	0.0%	23.4%	53.2%	0.0%	0.0%	23.4%	0.0%	100.0%
公園・自然地・スポーツ施設等	18.9%	9.3%	7.3%	0.0%	30.0%	34.5%	0.0%	100.0%
その他の生活系施設	37.3%	3.2%	13.2%	0.0%	22.4%	23.8%	0.0%	100.0%
大規模小売店	51.8%	5.6%	11.1%	0.4%	8.3%	20.5%	2.4%	100.0%
小規模小売店	13.8%	11.6%	11.2%	0.0%	14.2%	47.1%	2.1%	100.0%
宿泊施設・ホテル	70.1%	0.0%	10.7%	0.0%	0.0%	19.2%	0.0%	100.0%
飲食施設	39.7%	5.1%	12.6%	0.0%	5.1%	37.5%	0.0%	100.0%
アミューズメント施設	58.0%	0.0%	15.3%	0.0%	7.4%	19.3%	0.0%	100.0%
その他の商業系施設	71.6%	0.0%	17.1%	0.0%	8.4%	2.9%	0.0%	100.0%
事務所・会社・銀行	67.9%	4.4%	14.1%	0.0%	4.0%	8.2%	1.4%	100.0%
官公庁施設	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
その他の業務系・工業系施設	68.7%	0.0%	14.2%	6.9%	4.8%	5.4%	0.0%	100.0%
不明	38.5%	0.0%	61.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

大宮駅西口第3-B地区の再開発の施設は、「住宅」、「業務」、「商業」からなるが、大規模マニュアルに基づき、休日の発生集中交通量には「業務」は含めず、「住宅」と「商業」により算出する。

徒歩分担率から、「住宅」と「商業」の発生集中交通量を算出し、休日における徒歩利用を求める。

■徒歩利用発生集中交通量 (休日)

①住宅 (住宅・寮の数値)

原単位 (大規模マニュアルより)	世帯数 (戸数)	発生集中 (人ベース:算定値)	徒歩 分担率	発生集中 (人ベース:算出値)	発生集中(※) (人ベース:設定値)
7.0 (人T.E/戸・日)	582 (戸)	4,074 (人T.E/日)	32.7 (%)	1,332 (人T.E/日)	1,300 (人T.E/日)

②商業 (小規模小売店の数値)

原単位 (大規模マニュアルより)	面積	発生集中 (人ベース:算定値)	徒歩 分担率	発生集中 (人ベース:算出値)	発生集中(※) (人ベース:設定値)
18,600 (人T.E/ha・日)	0.98 (ha)	18,228 (人T.E/日)	47.1 (%)	8,585 (人T.E/日)	8,500 (人T.E/日)

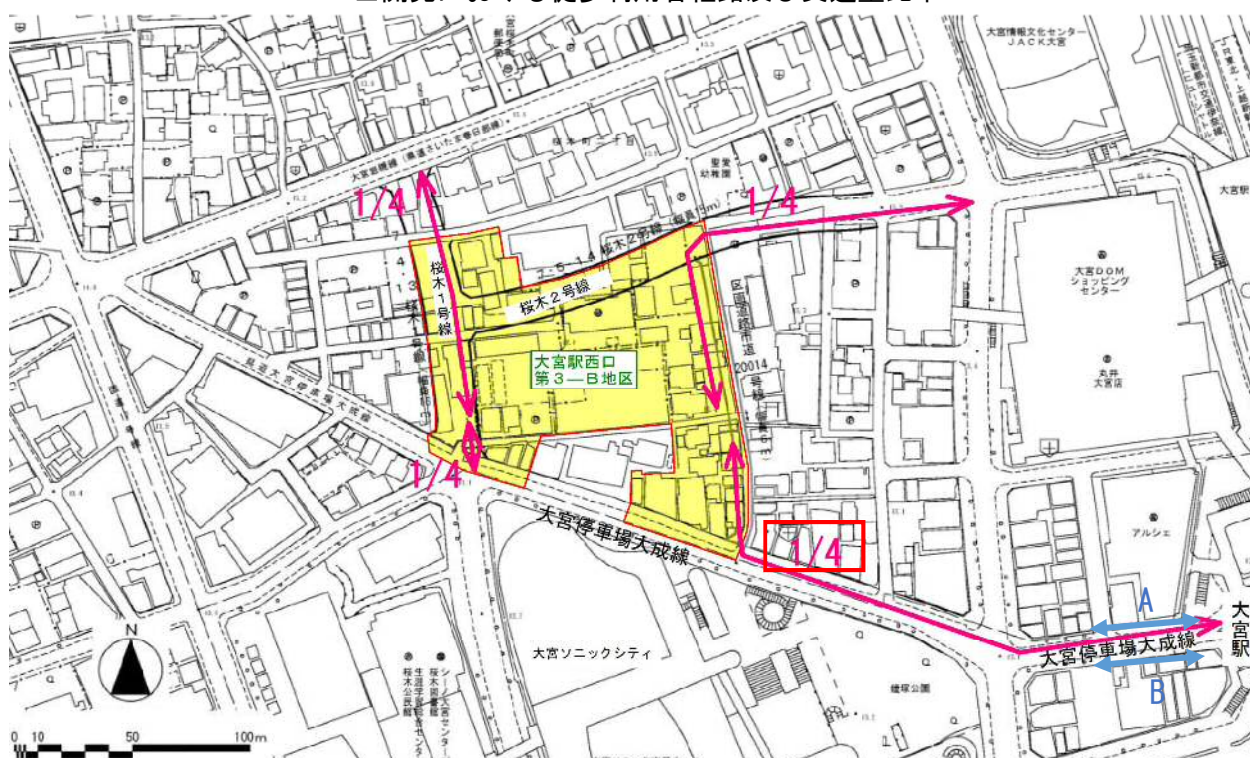
※人ベースの発生集中量は大規模マニュアルにより100人T.E/日で切り捨て

■ピーク時交通量の算出（休日）

	住宅	商業	合計	備考
日交通量(人T.E/日)	1,300	8,500		①、②により算出
ピーク率(%)	9	12		大規模マニュアルより
ピーク時交通量(人T.E/時)	117	1,020	<u>1,137</u>	

休日における徒歩利用の日交通量に、大規模マニュアルにおける時間集中率（標準値）を基に設定したピーク率をかけ合わせ、ピーク時交通量（徒歩利用）を算出する。

■開発における徒歩利用者経路及び交通量比率



徒歩利用者経路と交通量の比率は、上図のとおりと想定されるため、大成停車場大成線の交通量（A:北側歩道とB:南側歩道の合計）は1/4とする。

$$1,137 \times 1/4 = 284.2 \approx \underline{284 \text{ 人}}$$

$$\text{目標値} = 1,653 \text{ 人} + 284 \text{ 人} = \underline{1,937 \text{ 人}}$$

■指標4 大宮停車場大成線歩行者交通量の従前値・目標値

年度	令和2年度 (従前値)	令和7年度 (目標値)
指標値	1,653 人	1,653 人 + 284 人 = <u>1,937 人</u>